

## 目次

—表紙絵・若松光一郎 シリーズ—

提言 ..... 福島県レクリエーション協会長 渡部 宏 ..... 6

### 特集 豊かな人間性をはぐくむ学校教育

8  
31

随想	.....	23
告知板	..... 県立学校長会議・ほか	36
わかりやすい教育法令	..... 教員の研修	41
研究実践レポート	..... 数学的な考え方を身につけさせるためには・富岡町立富岡中学校・ 生徒の学習意欲を高めるためには・福島市立松陵中学校	42
学校紹介	.....	46
図書館コーナー	..... 北日本図書館大会から	48
ふるさとの文化財	..... 蘭亭曲水図	49
羅針盤	..... 中学校卒業者の進路状況	50
世界の教育は、今	..... ヨーロッパ・アメリカ	51



〈表紙絵〉 「ポリフォニックな情景」 若松光一郎 作  
 (キャンパス・和紙・カゼインカラー・墨、108.0×205.0cm、1983年作)  
 ストライプハウス美術館若松光一郎個展出品、福島県立美術館蔵

半世紀の歩み・若松光一郎展 いわき市立美術館  
 7月20日(土)～8月25日(日)

### 〔表紙絵作者の紹介〕

本誌の表紙を飾っていたいただいているのは、いわき市在住の若松光一郎画伯です。氏は本県の実業界のリーダーとして、本県文化の振興に御尽力いただいております。今月は、氏の画業の半世紀の歩みをたどる個展が、いわき市立美術館で行われております。

氏は、大正三年いわき市に生まれ、磐城中学から東京美術学校(現東京芸大)油学科を卒業。在学中、新作協会展へ出品して以来、闘病生活の年等を除いて毎年出品されております。戦後は、制作の場を東京からいわきへ移され、当市や本県へモダンで自由な芸術の風を送り込み、常に大きな影響を芸術界へ与え続けています。それらの活動に対し、「福島県文化功労賞」「地域文化功労者文部大臣賞」が贈られております。